

教育指導課便り

～つながり合い、共に学びをはぐくむために～

函館市教育委員会
学校教育部教育指導課
平成24年12月19日発行
VOL. 1 1

いじめ等の問題について考える集会



11月27日（火）13時30分より、市立函館高校体育館において、「つながる心 つなげる想い」をテーマとして集会を開催しました。

当日は、悪天候にもかかわらず、小・中・高生、各学校教職員、市民の方を含め約300人が参加しました。

第1部では、市立函館高校の生徒を中心に、小・中・高生が一緒に行うピア・サポート体験や高校生による劇の披露を行いました。また、第2部では、小・中・高の各学校で進められているいじめ撲滅の取組について発表を行いました。

参加者からは、「高校生のサポートによる小・中学生の交流は、それぞれにとって貴重な経験になると感じた。」、「体験したことを各学校で広めてほしい。」、「イベントとしての表面的な活動で終わらせることなく、いじめに関する様々な取組を継続してほしい。」など、多くの貴重なご意見をいただきました。

来年2月開催予定の「第3回いじめ等対策委員会」において、集会の成果と課題について協議し、今後のいじめ等の問題に関する取組の一層の充実を図りたいと考えています。

第3回特別支援教育支援員研修会報告

12月3日（月）、函館市北海道教育センターにおいて、第3回函館市特別支援教育支援員研修会を開催しました。

教育指導課から「今年度の成果と課題」の説明の後、「子ども理解と支援の充実のために」と題しまして、発達障害者支援センターあおいそらコーディネーター片山智博氏より、主な障がい者の特性と理解や、子どもの気になる行動と対応等について講義をいただきました。

続いての協議では、支援員自身が感じている成果について5人グループで、KJ法を用いて交流を行いました。協議では、成果として、「子どもに落ち着きが見られるようになった。」、「学習意欲が高まった。」、「生活習慣が定着した。」などの意見が挙げられました。午後からは、「読むのが苦手な子」や「文章題が苦手な子」への支援の方法について、演習を行いました。



コラム：生徒指導③

子どもの記憶に残るプラスの働きかけを

12月4日（火）付、函館市教育委員会教育長名通知にて、冬季休業中の指導をお願いしたところですが、各学校（園）におきましては、通知内のそれぞれの項目について子どもたちへの注意喚起に加え、「新年に向けた抱負」や「休業中にできる各自のレベルアップ」など、休み中の生活の充実を促す「積極的な働きかけ」をお願いします。

いわゆる「積極的な生徒指導」を通して、子どもたち自身に、目標に向けて生活する姿をイメージさせることにより、問題行動等を未然に防ぐ効果が高まることは、先生方も実感としておもちだと思えます。

それぞれの発達段階に合わせて、計画の大切さや時間の効果的な使い方、長期休業中だからこそ味わえる時間（家族とのひとときや自分と向き合う時間など）についても、学級ごと、または集会等で子どもたちに気付かせてほしいものです。

今年も各校教職員の皆様から様々な面でご協力をいただき、心から感謝申し上げます。
時節柄、ご健康に留意され、よい年をお迎えください。 教育指導課一同